

日刊 動労千葉

79.6.30
No.160

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二三五八・九・公衆(品宣)22七二〇七

動労千葉、3番目の分科会誕生 6事務分科会結成委かちとる

六月二十八日、一〇〇パーセント団結署名貫徹をもってかちとられた蘇我支部の結成大会につき、事務分科会は、一五時より動力車会館において結成委員会を開催し、動労千葉の三番目の分科会を発足し、具体的活動を通して動労千葉の組織的発展をめざし、分科会員は一丸となつて闘い抜くことが確認された。

二ヶ月間の激闘の勝利にふまえ闘いとられたこの事務分科会結成は、動労千葉の組織体制整備が勇躍前進している何よりの証左であり、検査分科会結成(六月三〇日)をはじめ全分科会結成への布石として重要な取組みであったといえる。

動労の変質を正すという大義の前に団結し闘い抜く！

委員会は、斉藤副会長の司会により定刻より開催され、議長に大鍾事務長を選出し、進められた。

スローガン提起のあと、鈴木事務分科会長より「労働運動の大義を守り、真の動労魂を受け継いで動労千葉の運動の前進のために闘い抜く。佐倉支部の体制についても結成にむけ前進してきている」との挨拶と、決意の表明が行われ、次いで本部西森副委員長の挨拶をうけ、議事に入つていった。

執行部より、活動方針、規約の制定、会計報告の順に提起され、若干の討論の後、執行部提案通り全体の拍手の中で確認された。

7月1日(日)
じゃがいも掘り大会に参加しよう!

7月9時30分
千葉駅正面
旧電務区前

無料バス手配
これ大型だよ!

職場抵抗闘争を軸に、労働条件の改善をめざし強力な闘いを！

この間の「中央本部」暴力集団による組織破壊介入攻撃に対し、き然とした対応の中でこれを粉碎してきた事務分科会は、分科会独自要求とりわけ、労働条件の前進に向け、今後の組織体制を中心に論議され、事務掛の正規養成の方、事務掛として累積業務、通常作業の特殊性等が多く出され、今後職場抵抗闘争を軸に、諸要求、諸懸案事項の解決をはかり、労働条件の維持改善をめざし、強力な闘いを押し進めてゆくこととし、新役員のもと団結を更に一層打ち固め、事務分科会運動の組織的前進を期すこととした。

選出された新役員は次のとおりです。

- 会長 齊藤 功 千転支部
 - 副会長 田村 武 新小岩支部
 - 事務長 大鍾和夫 千転支部
 - 会計監査 小宮熊男 幕張支部
 - 〃 宮田正衛 成田支部
- ※ 旧役員のかたがたごころうさまでした!

動労千葉 野球大会

館山支部が優勝!

準優賞・津田沼
新小岩、成田は三位

最高殊勲賞 三瓶悦男(館山)
打撃賞 後藤光良(館山)
敢闘賞 小倉邦夫(津田沼)

成田	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津田沼	2	0	0	0	0	0	0	0	X
新小岩	0	0	1	0	0	0	0	0	0
館山	0	0	3	0	4	0	X		
津田沼	0	0	0	0	0	0	5	0	
館山	5	1	0	0	0	0	0	X	
合計	6	5	7	1	2	0			

動労千葉野球大会は、去る六月一日の二・二回戦に引き続き、二八日、九時より千葉相模ランドにおいて、準決勝・決勝戦の三試合が行なわれ、館山支部が昨年度の覇者津田沼をやぶつて優勝をかざった。

今回の野球大会の成功は、準備を担当した千葉転支部をはじめ、各支部の積極的な協力と熱意と同時にこの間の「本部」暴力反動集団の動労千葉破壊策動を一つ一つ粉砕してきた一四〇〇組合員の団結力によってかちとられたものである。

今後とも、サークル活動をより活発に展開し、組織強化・発展をかちとる

最終回、三瓶投手、ついに足のけいれんによって降板、往年のエイズ(?)吉野に変わり、三番・原に痛烈な中堅安打を許したが良く押さえ、昨年度優勝チームの津田沼を振り切つて優勝の栄冠に輝いた。